



http://hiratsuka-rotary.jp



2014~2015年度  
国際ロータリーテーマ  
LIGHT UP ROTARY  
「ロータリーに輝きを」

# HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 鳥海衡一 ●副会長 清水孝一 ●幹事 白石慎太郎 ●会報委員長 日坂泰之 (2014~2015年度) E-mail:hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:15~13:30 ●会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ●事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

## 第2975回例会 2014年12月11日 グランドホテル神奈中 週報第2975号

### 上期情報集会報告

**テーマ**  
「明るく、楽しく、さわやかにロータリーライフを過ごすには」  
～皆さんが目指す平塚ロータリークラブとは～

情報集会グループ会員各位

平塚ロータリークラブ  
会長 鳥海衡一  
クラブ研修委員会

#### 平塚ロータリークラブ情報集会 テーマについて

会員各位には日頃より平塚ロータリークラブの活動に  
対しまして、ご協力をいただき誠に有り難うございます。  
皆様のお陰をもちまして、「七夕まつり」「花火大会」「公  
式訪問」「地区大会の参加」「よい音楽に親しむ会」「花  
巻RC訪問」等事業も順調に推移しております。

さて、11月に入りいよいよ上半期情報集会の開催時  
期がやってまいりました。情報集会は会員の情報伝達の  
一つとして、テーマに沿って参加者全員が活発な意見交  
換をする場であり、その意見を集約して発表し、今後の  
活動の指針とするものであります。

半年度上期のテーマは、本年度鳥海会長の活動指針で  
あります「明るく、楽しく、さわやかに」を会員全員で  
実感するにはどうしたら良いか。皆さんが目指す平塚  
ロータリークラブとは何かを大いに語っていただきたい  
と思います。

参加者全員の発言をお願いいたします。そして大いに  
飲んで、食べて、懇親を深めて下さい。

#### 赤グループ 岩津 雅晴幹事 発表

冒頭、明るく、楽しく、さわやかに に  
「エッチに」を加えるべきではないかという  
ような意見もあり議論がどこに行くのかと  
心配した場面もありましたが、小笠原先生の  
「4つだとまずい、言葉の調子から3つにすべきだ」と  
一刀両断にして頂き落ち着いた議論が出来ました。  
出た意見を大まかにまとめると

##### ■先輩会員の昔話を聞きたい。

通院等で忙しいかもしれないが、先輩方の出席がもっ  
とあった方がよい。

先輩方の昔の平塚のことや、昔の平塚ロータリーのこ  
とが卓話で聞きたいという話も多数出ました。

##### ■理解されにくい「平塚ロータリーの爽やかさ」を外 部から理解して頂くには複数名での他クラブ例会への遠 征を行う平塚友好隊の創設が有効じゃないか。

「一人では恥ずかしいけど2-3名でなら僕も行って  
良い」と原田伊三郎会員からのお話がありました。

また他クラブからの来訪者を接待する、接待班の創設  
は有効ではないかという話がありました。

##### ■左近允さんの存在は大きい。

ここで出てきたのが事務局を務めて頂いている左近允  
さんの存在でした。

事務局の左近允さんの綺麗さは平塚ロータリーの優位



性であるという意見が多数ありました。これからはメン  
バーの為にずっと美しくいて頂きたいと思えます。

##### ■ロータリーライフが楽しい為には、家庭も、仕事も楽 しくないといけない。

家庭円満の秘訣は小笠原先生によると「お互い尊敬し  
あうこと」とのことでした。「この年になると下手打つ  
と家に入れて貰えないから」との事でしたが、ここで小  
笠原先生の奥様は平水さんの実のお姉さまだという事実  
が公表されました。

この辺から、「男女の産み分けはペーパーの問題で可  
能である」という話から、「ダンスをすると血液が下半  
身に降りてしまい頭から血液がなくなり冷静な判断が  
出来なくなるので、北本さんは大学のダンス部で奥さん  
を射とめたんだ」といったような話になってしまい、  
だんだん怪しくなってきました。鶴井さんのお店の伊志  
川さんで大変美味しい料理を頂ながら、赤グループの  
方々と大変楽しい時間があっていう間に過ぎてしまいま  
した。

さて、私事ですが、この週末つまらない事で夫婦喧嘩  
をしてしまい口をきいていませんでした。月曜はそのま  
ま過ごしたのですが、夜中にどうも気分が優れず、目が  
覚めました。そこで「明るく、楽しく、そして何より  
爽やかに」の平塚ロータリーの標語を思い出しました。  
「そうだ、爽やかに謝ろう」と思い、夜中の1:30に  
家内にごめんとメールしたら、「私の方がごめんさい」と  
即返事が来て一件落着となりました。やはり「爽やかに」  
は素晴らしいことだと思いました。鳥海会長、深く感謝申し  
上げます。以上 情報集会 赤グループの発表でした。

#### 橙グループ 増田 尚文幹事 発表

「明るく、楽しく、さわやかにロータリー  
ライフを過ごすには」というテーマにつき  
橙グループ幹事の増田より、メンバー全員  
で協議した内容を4つに纏めて報告させて  
頂きます。



一つ目は、会員歴の長いベテラン会員の卓話を月に1  
回程度設定したらどうかという提案です。特に新しい会  
員からの希望が多くありました。二つ目は夜間例会の復  
活です。昼間には参加が難しい会員のため、2か月に1  
回程度設定したらどうかという提案です。三つ目は新会  
員に対するスポンサーの役割の重要性です。最初が肝心  
であり、スポンサーは少なくとも半年はしっかりと面倒  
を見るべきとの意見です。四つ目は、まずは自身の参加  
率を自己努力によって高めれば親睦もさらに深まり楽し  
くなるのではという助言でした。

私も全所属員に対し、木曜日の昼にはアポを入れない  
よう指導しています。最後になりますが情報集会が一番  
嬉しかったのは橙グループの皆様から情報提供いただ  
いた平塚周辺のグルメ情報です。お店を一軒ずつ巡って舌  
鼓を打つのが今から楽しみです！

#### 黄グループ 中村 豊幹事 発表

黄色グループの情報集会は、11月20日  
木曜日にリビエラにて開催されました。

メンバー10名中8名が出席し、予定の2  
時間を20分超過するほど、終始舌鼓に楽しく意  
見交換が行われました。



報告会で紹介しました通り、様々な意見が出されまし

### <出席報告>

本 日12月11日	会員数 60名	対象者 56名	出席者 49(46)名	出席率 81.36%			
前回11月27日	会員数 60名	対象者 56名	出席者 49(46)名	出席率 83.05%	MUP 3名	計 52名	修正率 88.14%

たが、紙面の関係で論点を一つに絞って報告します。  
 もっと明るく、楽しく、爽やかなロータリーライフと  
 するためには、会員間の壁を取っ払う、つまり会員同士  
 がお互いのことをもっと知ることのできる取り組みが必要。  
 そのためのアイデアとして

- 例会出席が基本。例会内容をより充実させ出席率向上を図る。
- 自由席の場合、テーブルごとのメンバーの組み合わせが偏りがちとなるので、色別に加えて委員会別や血液型、誕生月等の組合せをする。
- 新会員の入会記念卓話だけでなく、時には先輩会員にも卓話をお願いする。
- 通常の例会だけでは、現状以上に関係を深めたり広げたりするのは難しいので、夜間例会や情報集会增加を増やす。等が出されました。今後の運営に役立てて頂ければ幸甚に存じます。

黄色グループのメンバーの皆様、ご協力感謝申し上げます。ありがとうございました。

**緑グループ 森 誠司幹事 発表**



今回の情報集会のテーマは、「明るく、楽しく、さわやかにロータリーライフを過ごすには」「皆さんが目指す平塚ロータリークラブとは」のテーマで参加者全員よりご意見を頂きました。

- 自分自身が健康であるということが大切であり、自分の人生が充実していること。
- 色々な行事に参加し、協力すると、多くの方々と接する機会が増える。
- 夜間例会を開催して、飲みものにケーションも大事である。
- もっと個々の個性を引き出したい。例えば、委員長を受けたならば、過去にとらわれずにやりたい事を積極的に取り入れるべきである。
- R I のテーマとかにたわわでは駄目で、自分たちのやりたい事をもっと追究すべきである。思い切って、やめて良い事業は、やめて新しい事業に取り組む。
- 自分の仕事を優先にして、その後の楽しみとしてのロータリー。

最後にまとめますと、「積極的に参加をして、色々な人と、同じ時間を共有することが、大切である」でした。

**青グループ 日坂 泰之幹事 発表**



青グループは、11月27日に6名の参加者とお酒を飲まず約2時間半にわたり「明るく、楽しく、さわやかに」情報集会のテーマについて意見交換をさせていただきました。皆様ご協力ありがとうございました。

さて意見交換についてですが、まず一番最初に出た意見が、「今のロータリーが、明るく、楽しく、さわやか、だよね」という意見でした。その後は箇条書きにさせていただきます。

- 先輩が、やさしく、和やかにしてくれている
- 毎年、定期的に入会者がいること
- 女性会員がいることで明るく華やかになる
- レク、趣味クラブ等々と色々なクラブやサークルを作る
- 世界のロータリアンと楽しむ事、ロータリーパッチの活用
- 各種ロータリーの言葉や、手続き等を覚える
- 委員会の引き継ぎをしっかり教える
- 木曜日の午後に予定を入れないルーティーンを作る
- とにかく健康である

まだまだ色々な意見がありましたが、一番多かった意見として、そしてすべての意見をまとめ情報集会青グループの最終的な答えとして、「出席する事」が一番重要だという事になりました。

例会をはじめすべての行事や、他のロータリーや世界にも参加し、ロータリーの素晴らしさを体験する事がロータリーのすべてであり、明るく楽しくさわやかにロータリーライフを過ごすには、やはり「出席する事」でございます。以上で青グループの発表とさせていただきます。

**紫グループ 秋山 智幹事 発表**



日時：2014年11月20日(木) 18:30～21:30  
 場所：経済懇話会  
 グループ：小泉芳郎 前田孝平 小飯塚立雄 升水富次郎片野之万 鈴木忠治 添田 郁 宅野順彦 関口幸恵秋山 智

先輩方からのお言葉を中心に纏めさせて頂きました。まずは、自分の存在を覚えて頂くためにもクラブ活動に出席・参加することが必須です。自ら元気よく挨拶をし、例会では毎回席を固定せず年代を超えて様々な方と

交流していくことや、新しいメンバーに疎外感なく仲間づくりをする環境を提供することも大切です。そして、単年度組織だからこそ「頼まれごとはノーと言わない」奉仕の精神にて積極的に仕事を引受けることで、個人の信頼を得るに留まらず強固な組織づくりにも繋がります。

また、「苦しい時の事は今振り返ると何よりも楽しい」「会長という役職を是非経験してくれ」との経験者からの熱いお話しには、今後様々な事に挑戦していく勇気を頂きました。

先輩方の経験談や若手の主張を交えたこの情報集会を通じ、倫理観を養い、互いに切磋琢磨する素晴らしきクラブに所属していることへの感謝と責任を改めて感じ、組織を更に発展させる為にも「明るく、楽しく、さわやかな」ロータリーライフを目指して参ります。

**<委員会報告>**

●プログラム委員会より

来年1/8(木)の例会は、18:00より恒例のNew Year Concertを同会場にて開催致します。今年も茅ヶ崎湘南ロータリークラブの矢野嘉哉さんをお呼びします。シンガーソングライターとして湘南エリアで活躍中です。皆様是非ご出席ください。

**<幹事報告>**

◎米山記念奨学会より、以前当クラブでお迎えしていた奨学生の近況をお知らせいただきました。当時のカウンセラーは水越 正元会員です。

◆ロータリー米山記念奨学会より

いつもお世話になりまして有り難うございます。貴クラブで1979-81年にお世話いただきましたリー、ギンリオン・ダニューヴさんよりアドレス変更連絡をいただきましたので転送申し上げます。

下記メールは、現役奨学生・学友に配信している誕生日お祝いメールに返信くださったものです。必要な際は、お手数でございますが、カウンセラーや関係者の方へご回覧・転送をお願い致します。

◆ダニューヴさんより(翻訳文)より

皆様、本年中、いろいろとお世話になりましてどうもありがとうございました。定年後、家庭用・業務用洗剤・洗浄剤の製造販売し、インドネシアのジャカルタの東に、ベカシ市にてレストランも経営し、皆様にご満足頂けるサービスを心がける所存でございますので、何とぞ来年ご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。皆様のご健勝と貴社の益々のご発展を心よりお祈り致します。来年も支援及びアドバイスなどもどうぞ宜しくお願い申し上げます。ダニューヴ・リー 敬具。

**<メイクアップ>**

3名  
 清水雅広・豊川忠紀・前田孝平会員

**<本日のスマイル>**

11名

**<ゲスト>**

2名



梅原謙司様 相原 清様

IMキャラバン隊として 梅原謙司様・相原 清様(平塚北RC) \*2/7(土)に行われますIMについてホストクラブとしてキャンペーンにいらっしゃいました。

**<ビジター>**

0名

**<卓話・行事予定>**

- 1月 1日(木) 休会 定款による
- 8日(木) ニューイヤーコンサート 18:00～20:00 場所：グランドホテル神奈中
- 15日(木) クラブフォーラム クラブ研修委員会 升水一義研修リーダー
- 22日(木) 入会記念卓話 尾上達也会員
- 29日(木) プログラム委員会(卓話予定)

**<市内例会変更>**

平塚南	1/2(金) 休会
	1/9(金) 新年会(夜間例会)